

平成 21 年 11 月常議員会議事録

日 時：平成 21 年 11 月 18 日(水)10:00～12:50

場 所：日本建築学会東北支部会議室，テレビ会議

出席者：井上、渡邊（浩）、西田、浅里、我妻、渡邊（裕）、五十子、事務局（伊藤）

資 料：

資料 1	平成 21 年 9 月常議員会議事録（案）	渡邊(浩)常議員
資料 2	理事会報告	井上支部長
資料 3	9・10 月会計報告	渡邊(裕)常議員
資料 4	代議員・常議員候補者届出状況について	事務局
資料 5	第 20 回東北建築作品発表会の報告	西田常議員
資料 6	2009 年度設計競技全国入選、タジマ奨励賞の報告	事務局
資料 7	2010 年度設計競技全国審査委員と支部審査委員の選出報告	事務局
資料 8	AND 展の決算並びに大会決算（案）について	事務局・井上支部長
資料 9	日本建築学会教育賞（教育業績）への推薦報告	事務局
資料 10	作品選集 2011 支部審査員の選定について	事務局
資料 11	みちのくの風 2010 山形について	渡邊(浩)常議員
資料 12	東北支部研究報告会電子投稿について	浅里常議員
資料 13	2010 年度収支予算(案)	渡邊(裕)常議員・事務局
資料 14	青葉振興会からの寄付金の積立について	事務局

1. 前回議事録の確認（資料 1）

原案の通り承認された。

2. 報告事項

1) 理事会・支部長会報告（資料 2）（井上支部長）

・支部長会報告

九州支部からの支部研究報告集に関する提案、本部調べによる各支部の状況の報告があった（支部研究報告会の電子投稿化検討の参考とするため）。

また、会員数の推移についても報告があり、会員数の減少に伴い支部交付金が減額される見通しが示された。

2) 9・10 月会計報告（資料 3）

渡邊（裕）常議員及び事務局より資料 3 に基づき 9・10 月の会計報告がなされた。AND 展の会場費・アルバイト代が 10 月 30 日付けで計上されている。

3) 代議員・常議員候補者届け出状況について（資料 4）

来期の代議員・常議員候補者届け出状況について報告があった。各選出母体で後任の選出が進んでいる状況が確認され、候補者届け出期日の 11 月末までに支部への届け出が行われるよう各候補者に依頼することが確認された。

4) 第 20 回東北建築賞作品発表会報告 (資料 5)

西田常議員より 10 月 10 日に開催された第 20 回東北建築賞作品発表会の報告が行われた。一次審査が終了し、現在現地審査に入っている。2 次審査会は 2010 年 1 月 30 日開催予定。

5) 2009 年度設計競技全国入選、タジマ奨励賞の報告 (資料 6)

東北支部からは 4 作品を推薦したが、残念ながら全国入選はしなかった。タジマ奨励賞については、1 作品が入選した。

6) 2010 年度設計競技全国審査委員と支部審査委員の選出報告 (資料 7)

2010 年度設計競技全国審査委員として東北支部から東北大学本江准教授を推薦したことについて報告があった。また、支部審査委員として石川先生 (八戸工業大学)、櫻井先生 (東北大学)、鈴木先生 (宮城大学)、須田先生 (宮城学院女子大学)、三宅先生 (岩手大学) を選出したことが報告された。

7) AND 展の決算並びに大会決算(案)について (資料 8)

支部行事であるアーキニアリングデザイン展と大会の決算について報告があった。AND 展は▲80 万円ほどの赤字決算となった。

大会決算については日数が 4 日間になった等不可抗力的な要素で支出が全体的に増えたものの、実行委員の努力もあり剰余金を残すことができた。

8) 教育賞

建築学会教育賞について、本年から支部推薦が必要となっている。本年度は秋田支所から推薦依頼があり、総務会で審議の上教育賞 (教育業績) に推薦した旨報告があった。

9) 作品選集 2011 支部審査員の選定について

今年度で退任予定の崎山先生 (秋田) の後任は崎山先生に、月舘先生の後任は岩手支所に、時野谷先生の後任は松井常議員にそれぞれ人選をお願いしている旨報告があった。

10) 志賀敏男先生のご逝去について

井上支部長より、志賀敏男先生ご逝去の経緯について報告があった。支部からは生花とお香典をお出しした。

11) 2010 年度総会の日程・会場について

2010 年度総会は 2010 年 5 月 15 日 (土) にせんだいメディアテーク 7 階スタジオシアターにて開催することとなった。総会の世話役は五十子常議員が担当することとなった。

3. 審議事項

1) みちのくの風 2010 山形 (仮称) について (資料 11)

渡邊 (浩) 常議員より東北芸術工科大学志村先生、三浦先生との打ち合わせ内容の報告があった。開催日は 6 月第三土・日となる 19・20 日に決定。招待講演については、計画・環境部門は佐藤会長に事務局よりお願いする (来年度は会長支部訪問の年のため)。時間帯は、初日の午前を第一候補とし、2 日目の午後は参加者数が減る恐れがあるので避ける。テーマについても佐藤会長に委ねることとする。構造・材料部門については構造部会五十子幹事が人選と講演依頼を担当する。

パネルディスカッションまたは見学会については、見学会に対して強い要望がある。パネルディスカッションとする場合、会員外にも公開することを検討する。

懇親会については、車での来場者が多くなることが予想されるため学生食堂で昼食会の形にすることも検討する。

2) 支部研究報告会電子投稿について (資料 12)

浅里常議員より電子投稿の見積り, 受付システム, 発表申込方法等について報告があった。

基本的に来年度より研究報告集は CD-ROM 化する方向とし、事前予約すれば冊子を購入出来るようにすることも検討する。定期購読の各大学等への配布用の冊子 (有料) 作成も検討。

掲載料 (CD-ROM 付き) は経過措置として従来通り 2 頁・4 頁の場合 6,000 円、6 頁の場合 9,000 円、8 頁の場合 12,000 円に据え置くこととなった。CD-ROM 有償販売価格は 3,000 円 (計画系・構造系合冊)、冊子は 5,000 円 (計画系・構造系別冊) とする。冊子は、赤字幅を削減するため従来より高くなっているが、購読者に無断で値上げできないので、価格の安い CD-ROM も選んで頂けるようにする。

建築雑誌に掲載する募集要項について、「研究報告集」は CD-ROM 版を表すこととし、冊子版は「冊子版研究報告集」または「研究報告集 (冊子版)」等と明記し、計画系・構造系別冊であることも明記する。電子投稿システムの名称は、研究報告集の購入申込みも受け付けるため、「東北支部研究報告会 Web 受付システム」とする。建築雑誌に掲載する募集要項及び Web 受付システムの詳細は、浅里先生、総務担当常議員、事務局にて詰めることとする。

3) 2010 年度収支予算 (案) (資料 13)

来年度収支予算 (案) について渡邊 (裕) 常議員より資料 13 に基づき報告があった。

4) 青葉建築研究会からの寄付金積立について (資料 14)

青葉建築研究会からの 120 万円の寄付金について、支部基金と災害調査基金にそれぞれ 70 万円と 50 万円を積み立てることが確認された。

4. 次回の日程

12 月常議員会 : 12 月 21 日 (月) 13:00-15:00

以上